

TKC近畿京滋会 平成31年新年賀詞交歓会

開催日:平成31年1月30日(水)

会場:ホテルグランヴィア京都

平成31年1月30日(水)にTKC近畿京滋会新年賀詞交歓会が開催されました。当日は、TKC全国会会長の坂本孝司先生より、「税理士の4大業務～第3ステージの運動方針～」についてご講演いただきました。また、近畿京滋会会長の佐藤正行先生より、平成31年度近畿京滋会方針発表をいただきました。

『税理士の4大業務』～第3ステージの運動方針～



TKC全国会会長
坂本 孝司 先生

税理士の仕事とは『4大業務(税務・会計・保証・経営助言)』です。中でも、保証業務と経営助言業務には、今後の伸びしろがあります。保証業務は、数字に関する信頼性を与える仕事であり、書面添付がまさにそうです。経営助言業務とは、税理士として数字を使ったコンサルティングを行うことです。これらの業務は税務知識がベースとなり、税理士の独占的業務と言えるので自信を持って実践すべきです！しかし、いきなり4つの業務を全部実施するのは大変です。それこそ多くの職員の数が必要になります。まずは、得意な業務から実践していきましょう。事務所の基盤が固まってきたら、全業務を行うようにすればよいのです。4大業務の軸となるのは「会計帳簿=仕訳」です。仕訳がしっかりしていれば、調査が入っても月次試算表が正しいので不安はありませんし、保証業務(書面添付)も行えます。また、正しいデータだから経営助言にも活用できます。4大業務のためには、月次巡回監査は何をおいても実施すべきです。そして、4大業務をシームレスに行えるのはTKCシステムだけです。(FXシリーズ⇒巡回監査支援システム⇒継続MAS⇒TPSシリーズ)他社のシステムを関与先に自由に選ばせては、4大業務はできません！職員の負担も増大になります。事務所は「シームレスじゃないと力が発揮できない」と社長に言うべきです。4大業務は、税理士業界全体の業務であることを伝えたいといけません。TKCだけが輝きをはなってもごく一部の存在です。これからの3年間は勝負の年です。社会の納得を得るため、3年間で基盤を作り、外部機関に対する運動を行っていきましょう！

TKC近畿京滋会 平成31年活動方針



TKC近畿京滋会会長
佐藤 正行 先生

<スローガン>

『TKC近畿京滋会の輪をさらに広げていこう！』

- ①中央の「社会の納得」を京滋の地に浸透させよう！
- ②「自計化による巡回監査」に取り組もう！

<第27期活動方針>

1. 書面添付及びTKCモニタリング情報サービスの推進
2. 早期経営改善計画策定支援事業の推進
3. FX2自計化の推進
4. 支部例会の充実・参加率向上及びNMフォローの推進、委員会の活性化
5. TKC職員研修を事務所経営へ

第27期は、近畿京滋会の内外にわたり「TKCで良かった！」と感じてもらい、輪をさらに広げていくための活動に挑戦します！

特に、地域金融機関へTKC会計人の強みをアピールするため、書面添付とモニタリング情報サービスを爆発的に推進しましょう！

巡回監査士・巡回監査士補 試験合格者認定書授与式



巡回監査士補 試験合格者



巡回監査士 試験合格者

「TKCブランドで社会を変える」ための運動方針を実現するためには、TKC会員事務所の経営基盤の強化が必要です！「巡回監査士」「巡回監査士補」を増やすべく、職員研修の受講、巡回監査士・巡回監査士補試験の受験を積極的にお願いたします！